

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定 **実施結果**)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月4日実施)	総合評価(3月26日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①工業教育の特色を活かし、社会で必要とされる専門性の向上を図る教育課程を提供する。</p> <p>②自ら課題を発見し解決する力の育成と主体的に学ぶ意欲の向上を図る。</p> <p>③学校行事や生徒会活動を通じ、自他の多様性を尊重させ、生徒の主体的な活動の促進を図る。</p>	<p>①新教育課程編成へ向けた検討作業計画を作成する。</p> <p>①工業に必要な資格取得の合格率を上げる。</p> <p>②引き続き参加型授業の展開と生徒の意欲の向上を目指す。</p> <p>②企業研究・課題研究・実習などで、主体的に学ぶ意欲の向上を図る</p> <p>③生徒会行事の運営を通して、生徒の自立心を育成させる。</p>	<p>①新教育課程編成を具体的に検討する組織を作る。</p> <p>①向工ジュニアマイスター制度の趣旨を校内に浸透させ、意欲関心を高めると共に資格取得に向けての指導を行う。</p> <p>②計画的・日常的な授業改善に取り組み、生徒による授業評価で「意欲的に努力している」との回答率が学力の定着に結び付ける。また、参加型授業の実施を目指して全教科で授業研究を推進する。</p> <p>②出前授業などを継続して行い、外部講師等の有効活用を図る。</p> <p>③各行事において、企画・準備段階から生徒が取り組むように導く。</p>	<p>①新教育課程編成の具体的な検討が開始できたか。</p> <p>①資格試験の受験者数と合格率が昨年度より増加したか。また、ジュニアマイスター申請者が増加したか。</p> <p>②生徒による授業評価において(7)学習努力(8)意欲的な取り組みにおいて75%以上の「あてはまる」という回答があるか。</p> <p>②生徒による授業評価では生徒は「意欲的に努力している」との回答率が学力の定着に結び付けられたか。</p> <p>②出前授業後のアンケートにおいて、75%の生徒が「参考になった」と回答できたか。</p> <p>③学校行事等において、生徒の自主的な活動がふえたか。</p>	<p>①教科ごとに検討を開始した。</p> <p>①ジュニアマイスターブロンズが設定され、資格取得に挑戦する生徒が増加した。</p> <p>②生徒による授業評価では共に8割以上の生徒があてはまると答えた。また、出前授業では80%の生徒が好意的な回答を示した。</p> <p>③文化祭の企画等において生徒の自主的な活動が見られた。</p>	<p>①具体的な検討組織まで結び付かなかった。</p> <p>①資格取得の意識及び合格率向上のため、資格取得の意義やジュニアマイスターブロンズ取得への道筋を示す。</p> <p>②授業については生徒の主体的な取り組みを継続する。</p> <p>③生徒が積極的に行動し、校外へ自分達の活動を発信できるように図りたい。</p>	<p>①資格とは何か、それぞれの資格がどんな仕事に必要なかを生徒自身が認識できないと資格取得へのモチベーション向上につながらないと思います。</p> <p>②なぜこの科目を修めることが生徒自身の将来に活きるのかを理解させることが授業の出発点かもしれません。</p> <p>②先生方の真剣に取り組む姿で生徒が育っているのではないかと思います。</p> <p>③生徒会の主体的な活動に引き続き先生方の支援を期待します。</p>	<p>①教育課程の検討は、具体的な部分にもちこめなかったもので、新年度早々から取組みを開始したい。</p> <p>②授業や資格取得について丁寧な説明のもとで実践していくように努める。</p> <p>③学校生活全般で生徒の主体的な取組みを目指す。</p>	<p>①教育課程の検討に向けた校内チームを組織し速やかに検討を開始する。</p> <p>②資格取得は生徒の学習意欲の向上とモチベーションの上昇につながるため、ジュニアマイスターも絡めて丁寧な説明を継続していく。</p> <p>③学校行事等だけでなく、日々の生活の中から自主的な行動ができるよう指導していく。</p>
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①自己の成長を意識させ、社会人としての基礎力を身につけさせる。</p> <p>②部活動を通じて、責任感、協調性、自主性の涵養を図る。</p>	<p>①個々の生徒に応じた生徒指導・支援を行う。</p> <p>①いじめ等の問題行動の未然防止を図る。</p> <p>②部活動を通して、生徒の自立心を育成させ自ら実行できる力を養う。</p>	<p>①生徒の情報を全職員で共有するとともに、きめ細かな対応を図る。</p> <p>①教育相談体制を充実させ、SCやSSWの有効な活用を図る。</p> <p>①問題行動の未然防止として、定期的な服装・頭髪及び遅刻指導やいじめに関するアンケート等を実施する。</p> <p>②部長や副部長、マネージャー等を活用し、各部員が自主的に取り組むよう導く。</p>	<p>①生徒の情報交換会を実施できたか。また、必要に応じてケース会議を実施できたか。</p> <p>①SCやSSWの来校日を周知できたか。また、SCやSSWと連携して生徒対応を行うことができたか。</p> <p>①生徒に対する指導において、定期的で組織的に取り組めたか。</p> <p>①いじめに関するアンケート等を実施し、安心な学校生活への環境づくりができたか。</p> <p>②生徒の自主的な取り組みにより、各部活動の活性化が図れたか。</p>	<p>①4月に情報交換会を実施した。</p> <p>①SSWやSCと連携した個別相談を行うなど相談体制を充実させた。</p> <p>①試験ごとに服装・頭髪指導を実施し、生徒の規範意識を高めることができた。</p> <p>①いじめのアンケートを実施し、他人を思いやる意識を高めることができた。</p> <p>②部活動の活性化に課題は残ったが、部長会等の開催により各部員が自主的に取り組むことができた。</p>	<p>①問題をかかえる生徒の対応にSCやSSWとの連携が重要となるため、更に効果的に活用できるよう工夫する。</p> <p>①指導対象者に減少の傾向は見られるが、日々の指導を怠らない努力の必要性を痛感している。</p> <p>①教員が発見しにくいSNS上のトラブルについては、効果的な方法を検討したい。</p> <p>②部活動の積極的な活動を推進し、活性化を図りたい。</p>	<p>①200名を超える生徒が卒業できたことを大変うれしく思います。</p> <p>①SCやSSWが先に動く前に学校は上昇しないので、先生方の取り組みを評価します。職員室内に賢者がいるとポテンシャルが上昇します。</p> <p>①SCやSSWの制度自体が素晴らしい。</p> <p>①1日は誰もが24時間しかないので、勉強はできるだけ授業時間だけで済むように授業に集中する習慣が身に着くと良い。</p> <p>①決められた時間に決められたことを出来ない生徒や好ましくない挙動をしてしまう生徒については大変だと思うが、引き続き根気強い対応を期待します。</p> <p>②部活動の環境の充実、自主的活動への支援を引き続き期待します。</p>	<p>①SCやSSWと連携した指導により、指導案件となる前に対応できるようになった。今後はSNS等における効果的な指導方法等について検討を重ねたい。</p> <p>①いじめ問題については、定期的なアンケートの実施により、生徒同士の状況把握に努め、安心安全な学校生活を送れるようにする。</p> <p>③部活動の活性化については、アルバイト等の問題を含んでいるが、進路指導と絡めながら部員数の増加を目指す。</p>	

3	進路指導・支援	生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導の充実を図る。	<p>①生徒個々の適性と希望に応じて、進路アプローチの方法を柔軟に進める。</p> <p>①生徒本人と保護者が納得した進路先決定100%を目指す。</p> <p>②各種外部機関との連携で得られた進路情報を学校全体、また、家庭等に発信する。</p>	<p>①進路希望調査を定期的実施する。</p> <p>①生徒個々の適性の客観把握の為の各種検査を実施する。</p> <p>①面談等を通じた生徒と保護者の進路希望の確実なすりあわせを行う。</p> <p>①放課後利用のキャリア説明会を複数回実施する。</p> <p>②就業体験先企業の新たな開拓を行う。</p> <p>②就業体験、キャンパス見学等を活用し進路希望先の把握を行う。</p> <p>②外部機関から得られた情報の精査と周知を行うと共に、外部機関との連携を押し進める。</p>	<p>①検査、調査が定期的実施できたか。</p> <p>①検査結果、調査結果を基に生徒一人ひとりに客観的に向き合ったアプローチができたか。</p> <p>①マッチング重視で生徒に寄り添う支援が進められたか。</p> <p>①放課後セミナーとしてガイダンスを実施できたか、生徒の参加は活発であったか。</p> <p>②就業体験企業数が増加し、体験、見学数が増えたか。</p> <p>②進路に関する有益な情報を生徒に周知できたか。</p> <p>②外部機関との連携行事を定着させることができたか。</p>	<p>①1月末の就職希望者内定率、進学希望者合格率ともに99%となった。大学入試センター試験や一般入学試験でも合格した。</p> <p>①1・2年生対象の放課後セミナーは参加人数が50名を超えた。</p> <p>②就業体験は80名を超える生徒が参加した。</p> <p>②外部機関連携、情報収集も学年進路を通じて定着してきた。</p> <p>②川崎市労働局と連携し就業体験受入企業の開拓を行った。</p>	<p>①求人内容を精査し、どう活用するかが大切となってきた。</p> <p>①これは1次内定率が求人の方には関わらず、ここ数年同じ程度(80%)である事に表れている。進路に関して早期に志望先の研究を始め、試験対策等を講じたい。</p> <p>②就業体験を継続するため、工業グループとの連携、仕事のすみわけを明確にする。外部機関との連携は内容改善を学年の実態に合わせて行う必要がある。</p> <p>②来年度は新規開拓した企業も就業体験先を含める。</p>	<p>①就職について100%近い数字で内定をもらっていることは素晴らしい。また、一次内定率が80%ということも素晴らしいと思います。</p> <p>②就職を希望する生徒については生徒自身とその保護者の希望をマッチングする苦労があると思いますが、より良い選択に向けて尽力願います。</p> <p>②引き続き、就職希望者のための求人情報の拡充および進学希望者への入試形態に関する説明や入試情報の収集をお願いします。</p> <p>②大学の入学試験が変わっていくということを保護者へも情報を伝えていただけるとありがたいと思います。</p>	<p>①進路指導に係る教員の負担は年々増加していく傾向にある。生徒指導同様に全職員で生徒の進路活動を支えていく必要がある。担任団や各グループとの一層の連携強化を図りたい。同時に、1年時から進路対策を推進することで、一次内定率の向上との関連性を検討したい。</p> <p>②外部との連携においては、生徒の選択肢の拡大を図るために継続して押し進めるが、内容を精査した取組みが必要になっている。</p>
4	地域等との協働	「地域とともに育つ向工」を実現し、「地域で活躍する向工生」を育むために、地域社会との連携による教育活動を推進する。	<p>①「地域とともに育つ向工」を実現するため、地域に向けてホームページを活用した展開をする。</p> <p>②「地域で活躍する向工生」を育むために、他校種、企業との連携事業を推進する。</p>	<p>①部活動の結果や学校行事等を積極的に発信する。</p> <p>②各種イベントを活用した施設・設備の魅力や学校活動を積極的に発信し、地域への広報活動を行う。</p> <p>②生徒自ら各種イベントに参加・運営することで自ら考える力やコミュニケーション能力を育む。</p> <p>②他校種、企業との連携を通じた教育活動の推進を行う。</p>	<p>①学校での活動をホームページ等で積極的に発信することができたか。</p> <p>②各種イベント、学校活動に取り組むことで昨年度よりも自ら考える力やコミュニケーション能力を育むことができたか。</p> <p>②各種イベント、地域の活動に生徒が協力できたか。</p>	<p>①部活動や学校行事についてホームページで発信することができた。</p> <p>②学校説明会や文化祭、向工チャレンジカップに参加運営することで自ら考え、行動する力やコミュニケーション能力を育むことができた。</p>	<p>①部活動の試合状況等の早期更新の方法を検討する。</p> <p>②生徒の参加を高めるために年間の計画を示し、参加生徒が達成感を得られるように引き続き生徒に対してきめ細かな指導を行う。</p> <p>②チャレンジカップ以外の行事にも生徒が積極的に参加できるように計画する。</p>	<p>①向工の活動・活躍が地域住民の方々に、より親しまれるようにホームページを活用した情報発信を期待します。</p> <p>②多摩川清掃について周辺の学校ではあまり聞かないので、良くやっていると思います。また、久地駅のハンドベルも好評でした。</p> <p>②今後も立地周辺の地域の方々、川崎市、企業、大学と連携して生徒の成長をご支援頂くことを期待します。</p> <p>②ボランティア活動や出前授業等、積極的に活動する生徒が増えてきていると思います。</p>	<p>①ホームページの活用は、昨年度より向上できたが不十分な点も多かった。次年度から新たな取組みが実施されるので、多くの情報を発信できるように努める。</p> <p>②地域で活躍する向工生を一層理解していただけるよう努める。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①校内の美化意識の向上と防災教育を押し進め、安全安心な教育環境を構築する。</p> <p>②すべての職員の資質向上を図るとともに、風通しの良い職場づくりをめざし、教職員の事故不祥事を未然に防止する。</p>	<p>①生徒が校内美化と安全、防災に対する意識を日常のあらゆる場面で持ちながら行動できるよう取り組む</p> <p>①生徒が校内美化と安全、防災に対する意識を日常のあらゆる場面で持ちながら行動できるよう取り組む。</p> <p>②職員の資質向上に向け、職員の連携及び不祥事の防止に取り組む</p>	<p>①全校運動として「整理、整頓、清潔、清掃、躰、安全」の6S運動を全校運動として展開し、安全、環境教育の推進を図る。</p> <p>①避難訓練等の防災教育により、全生徒全職員が防災に対する意識を高めるよう取り組む。</p> <p>②定期的に不祥事防止等の研修を行う。</p>	<p>①昨年度よりも「整理、整頓、清潔、清掃、躰、安全」が身につき実践されているか。</p> <p>①避難訓練や学校掲示板の利用により、迅速な行動や安否確認等の連絡訓練が効果的に実施できたか。</p> <p>②全職員で事故不祥事ゼロを実現できたか。</p>	<p>①実習室や工場のみならず学校生活全般で6S運動の意識を持ち清掃や整理整頓をさせることができた。</p> <p>①年3回の防災訓練では年々避難時間が短縮されてきている。また、生徒によるDIG研修を行い防災意識を高めた。</p> <p>②毎月の不祥事防止研修により不祥事ゼロを実現できた。</p>	<p>①生徒の6S運動を意識できるような取組を環境委員会の活動としても効果的に行い環境整備を進める。</p> <p>①トイレや階段の使用状況は少しずつ改善されているが、引き続き指導を続けていく。</p> <p>①生徒のDIG研修を継続し、防災意識と地域の特性理解を図る。</p> <p>②不祥事防止研修は今後も毎月行い、不祥事ゼロを継続させる。</p>	<p>①校舎内やトイレの掃除が行き届いていない学校もあるが、向工は6Sの成果が出ていると思う。</p> <p>①校舎内(建物・グラウンドなど)において、危険がどこに潜んでいるかを教職員自身が把握して、生徒への安全教育を実施することを期待します。</p> <p>①安全教育は生徒自身が自身の安全を図ろうとする意識を育む機会なので、定期的実施されている避難訓練にも役立つと思います。</p> <p>②仕事上においてストレスを貯め込まないように学校管理者およびそれを補佐される先生方が、心配りや心身の健康管理について対応していただければと思います。</p>	<p>①6S運動を全校の取組みとして推進しているが、マンネリ化になっている部分もある。</p> <p>①避難訓練等については、生徒が訓練だと意識した中での取組となっている。</p> <p>②ストレスチェック等の実施について、より多くの職員が参加するよう広報していく。</p>